

審判必携

令和7年度スポーツ少年団冬季交流会

1. 主審、線審1名は各クラブの運営委員でお願いします。

- 3者リーグで棄権者がいる場合は、線審2名が必要です。
- 主審は、基本的ルールを理解している中学生以上でお願いします。
- 主審は、ポイントをコールするだけでなく、選手やベンチの指導者にも注意をはらい、競技が適正に行われるように「マッチコントロール」をお願いします。
- ジャッジに疑問などがあれば、遠慮なく速やかに本部にお知らせください。

2. ポイント

予選リーグ 21点1ゲームマッチ（延長なし）

決勝トーナメント 15点3ゲームマッチ（延長21点まで）

3. 試合開始

- 試合のコールがあったら、本部で審判用紙を受け取りコートに向かってください。
- 選手集合場所はありません（感染対策）。

4. 試合（マッチ）の進行

（マッチの始め）

- 主審は、本部席に向かいあう側に立って行ってください。
- 選手が集合したら、ゼッケンでクラブと名前を確認し、審判用紙と合っているか確認。
- 姓だけでなく名前も確認。
- 選手の持ち物は、主審の立ちサイドに置く。
- トス（コイントス又はじゃんけん）行い、勝ったほうに「エンド」か「サービス又はサービスレシーブ」を選択させる。負けた方には、勝った方が選択した以外のものを選択させる。
- （予選リーグでは）タイマーを使い、2分間の練習を行う。シャトルは持ち寄りです。

- 練習が終了したら、汗拭き、水分補給など、試合の準備をさせ、準備が整ったらコートに入るように促す。
- 右側の選手から（オンマイライト）「名前・チーム名」をコールする。続いて、左側の選手を（オンマイレフト）「名前・チーム名」をコールする
- 続いて、サービス側の選手「名前」トゥ サービス トゥ「名前」をコールし、「ラブオールプレイ」とコールし試合を始める

（インターバル）

- インターバルになったら、得点及び「インターバル」とコールし同時にタイマーを押す。
- インターバルは、21点1ゲームでは11点で1分間。その間にチェンジエンズ（エンド（ネットを挟んで「左右」を交替）する。
- 15点3ゲームマッチでは、ゲーム間のみインターバルをとる（2分間）。ファイナルゲームでは、8点でチェンジエンズ。このときは給水や汗拭きを終わったら速やかにコートに入るよう配慮する。

（ゲーム終了）

- 21点ゲームでは20点のとき、15点ゲームでは14点のとき、ポイントのコールのあと「ゲームポイント」とコールし、その後に相手のポイントをコールする。
- 1ゲームを勝った方が2ゲームにゲームポイントとなったときは、「ゲームポイント」の代わりに「マッチポイント」とコールする。
- 「ゲームポイント」、「マッチポイント」は1回コールすればよく、延長になって再びゲームポイントの状況になってもコールしない。
- ゲームの最終得点になったら、ポイントをコールしたあと「ゲーム」とコールする。
- さらに、「ゲーム ワン バイ （勝った選手の名前）、（ポイント）」をコールする
- 試合終了の得点の場合は、「マッチ ワン バイ（勝った選手の名前）」をコールする。
- さらに、試合終了時にはすべてのゲームのポイントをコールする。

(勝者の確認)

- 予選リーグでは、審判用紙の名前の左欄に○印を付け、勝った選手に確認してもらう。
- サインをしてもらう場合は、余白にする。
- 決勝トーナメントでは、勝者サインの欄にサインをしてもらう。

(次の試合の線審)

- 決勝トーナメントでは、試合終了後にそのコートで線審をする。
- トイレや着替えをする場合は速やかに行うように配慮するか、長くかかりそうだったり、続けて線審ができない場合は代わりを見つけるように促す。

5. 線審への配慮

- 正しい位置に配置しているか確認する。
- ライン付近の判断は線審が行う。
- ライン付近にシャトルが落ちたら線審の目や表情をみながら線審のジャッジを確認する。
- ジャッジが正確に行われたと思ったら、小さくうなずいてあげると線審とのコミュニケーションがうまくいく。
- 線審のジャッジの前に、主審の判断で次に進まない。
- 線審は、主審がジャッジを確認するまで、「アウト」「イン」のジェスチャーをやめないようにする。主審と目が合ったらジェスチャーを止める。
- 線審のジャッジが明らかに間違っていたら、オーバーコールをしてください。「アウト」のコールを覆す場合には「コレクションイン」、「イン」のコールを覆す場合は「コレクションアウト」とコールしてください。
- オーバーコールした場合は、選手にそのことを説明してあげるといいと思います。

6. 得点板への配慮

- 正しい得点が表示されているか常に確認する。
- 線審が兼ねているときは、点めくりに時間を要するので、正しい得点が表示されるまで、選手にラリーを始めるのを待つように促す

7. 選手への配慮

- フットフォルトについては、低学年や初心者に近いと思われる選手には気づいた時点で注意をしてください。その場で急には直せない場合は臨機に対応してください。
- サービスの打点が高い場合も同様に対応してください。
- なかなかサービの準備をしないなどの遅延行為や、相手に向かって大きく拳を上げるなどの不適切なふるまいをする場合には注意してください。
- 高学年や上位の選手の試合の場合は、競技規則に沿って審判をお願いします

8. コーチへの配慮

- ラリー中のアドバイスや応援は規則違反になります。そのような行為に気づいたら注意してください。
- 主審や線審への抗議は認められていません。そのような行為があった場合は本部席の競技役員を呼んでください。
- 個人戦では、主審に質問ができるのは、選手のみです。

9. 本部席のヘルプ

- ジャッジや選手、指導者の行為に疑問があったりする場合は本部席の競技役員を速やかに呼んでください。